

滋賀県・湖南省友好提携30周年記念事業

事業の全体概要

【基本的な考え方】

両県省の30年に亘る交流の歴史を振り返り、今後更なる絆を深める契機とし、両県省の発展に寄与する機会とする。

【30周年事業のテーマ】

両県省の交流の原点である、琵琶湖と洞庭湖に象徴される「環境」をキーワードとし、経済、観光、環境保全等の分野における交流を促進することにより、県内企業の事業展開につなげる。

【記念事業の概要】

1. 技術・経済交流訪問団の派遣（観光交流局・下水道課・琵琶湖環境科学研究センター・琵琶湖博物館）

友好提携30周年を記念して友好代表団（技術・経済交流団）を湖南省に派遣し、下記の事業を実施した。

期間：平成25年7月15日（月・祝）～18日（木）

参加者：県内企業（12社16名）、県関係者（知事以下15名）

＜実施事業＞

- ・ 杜家毫（と・かこう）湖南省長への表敬訪問
- ・ 環境分野における相互交流推進に関する覚書の調印
- ・ 環境関連機関・施設・企業等への訪問、意見交換
- ・ 洞庭湖・びわ湖共同環境セミナーの開催
- ・ 現地旅行会社への訪問・セールス
- ・ 歴代海外技術研修員との交流会の実施（研修員受入機関も参加）

2. 次世代を担う子どもたちの友好交流の実施（観光交流局・環境政策課・学校教育課）

湖南省の子どもや学校関係者を招待し、学習船「うみのこ」に乗船や、「やまのこ」を体験、小学校でのエコスクールに参加し、県内の子どもたちと交流しながら環境学習を行った。また、農家民宿や琵琶湖博物館の訪問を通して滋賀県への理解を深めた。

実施時期：平成25年8月6日（火）～11日（日）

来県者：湖南省の小中学生14名、政府・教育関係者6名

3. 30周年記念式典等の開催および各種訪問団の受入（観光交流局・森林政策課）

両県省の今後更なる交流の発展を図るため、政府代表団をはじめとする30周年記念訪問団を受入れ、関係者が一堂に会する記念式典を開催するとともに、記念行事等を行う。

実施時期：平成25年11月中下旬（記念式典は11月19日（火）に開催予定）

受入予定：約100名（政府代表団、友好代表団、研修生代表団、一般訪問団など）

予定事業：記念式典（湖上）、記念レセプション、記念植樹など

4. 交流記念誌等の編纂（観光交流局）

これまでの交流の歴史を振り返るとともに、30周年記念事業の様子をまとめた交流記念誌を編纂し配布する。